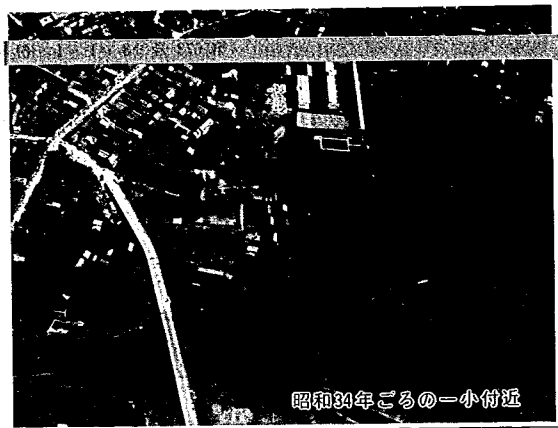
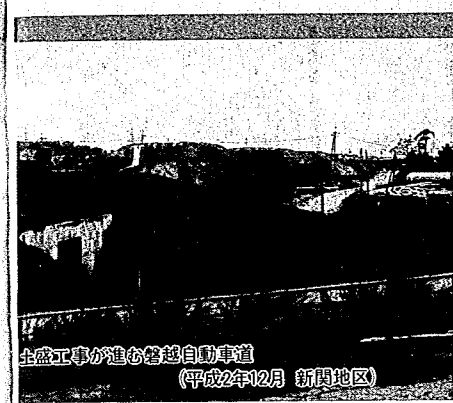
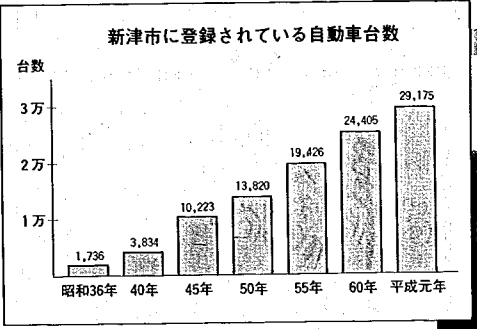




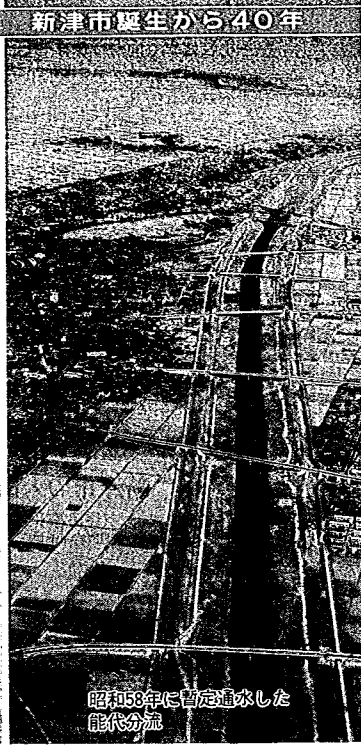
昭和34年ごろの一小付近



土盛工事が進む磐越自動車道 (平成2年12月 新開地区)



降雨量314mmを記録した6.26豪雨 (昭和53年 滝谷町地内)

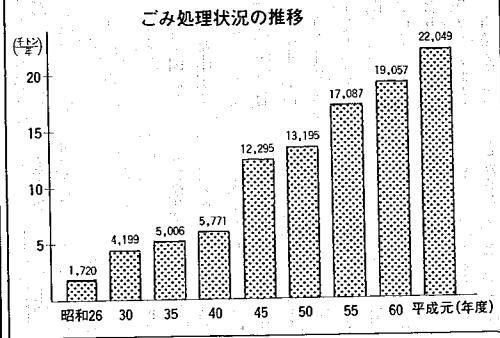


昭和58年に暫定通水した能代分流

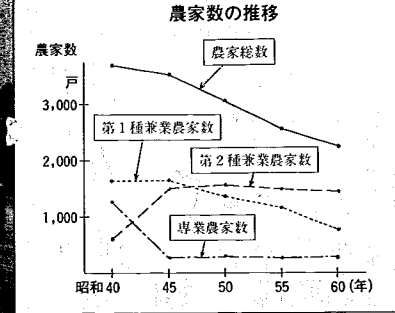
値段のいまとむかし

	昭和13年 (1938)	昭和25年 (1950)	昭和57年 (1982)
米(10kg)	2円80銭	445円	4,395円
卵(1kg)	82銭	232円	359円
牛 肉 (100g)	26銭	37円	571円
ビ ール (大びん1本)	38銭	130円	265円
電話料金 (基本料金/年)	45円	3,600円	21,600円
郵便料金 (手紙)	4銭	8円	60円
理髪料金 (大人1回)	40銭	59円	2,423円
大工手間代 (日額)	2円35銭	180円	12,527円

総理府「小売物価統計調査報告」から



盛んだったバレーボール (市制施行当時)



牛は大事に飼育(昭和30年ごろ)

世紀的分流事業で
水害のないまちへ

新津は、東と西に阿賀野川と信濃川、また、市街地中央に能代川が流れているため、過去の歴史を振り返るとき、長い水との闘いをひもとくこととなります。市制施行以後だけでも、昭和五十二年までの二十七年間に九回、平均して三年に一回は水害に見舞われていました。その中でも昭和四十二年の八・二八水害は特にひどく、死者二名、住家の全壊十三戸、半壊二十六戸、床上床下浸水は四千戸以上という深い傷あとを残しました。「水害常襲都市」という汚名返上は私たちの悲願ともいえるべきものでした。そうした意味で、昭和四十八年に着手された能代川分流工事は世紀的事業として位置づけられます。昭和五十八年に暫定通水し、市制施行三十周年に供用開始した公共下水道と合わせ、五十年代後半は水害のないまちへの大転換期でした。

手車とそりで
ゴミを収集

現在新津市が抱えている問題に、ゴミ処理問題があります。昭和二十六年のころはどろどろだったでしょう。当時の資料によれば、手車九台、冬

すが、昭和三十年代半ばごろまでは、まだ牛が農作業の大事な労働力となっていました。牛の鼻を引きながらの「代かき唄」や、すげ笠を左右に動かしながらのカン高い早乙女の笑い声も、今では懐かしい思い出になりました。

農家数の推移を見たのが上のグラフです。昭和四十一年、農家数約三千三百戸のうち、専業農家が三五％、農業を主とする兼業農家が第一種兼業農家が四五％、農業を従とする兼業農家が第二種兼業農家が二〇％であったものが、昭和六十年には、農家総数も二千二百六十五戸に激減し、専業・兼業の構成も著しく様変わりしました。米の消費が伸び悩み、昭和四十五年からは、米の生産調整は、農家にとつて大きな衝撃でした。この生産調整からすでに二十年、厳しい状況は今も変わりません。農産物が外国との貿易摩擦にあげられ、国の農業基盤が揺がされ始めています。

お買物、ご用命は市内で

自然を化学する!! 薬草化粧品

ハビオ

新津駅前

新年初売り 4日より
5,000円以上お買上げの
お客様100名様に
お礼を申し上げます!!

24-2186

'91 春のご婚礼衣裳展
1月12日(土)~15日(火) 新津(本町3) 展示場

Bridal Salon

伝丸伝

新津店 本町一丁目(24)3355代 新潟店 古町九番町(228)5881

お湯が出る
ボーンと押せば

指先タッチの
ガス湯沸器

老人から
子供まで
安心して
使えます

台所や洗面所に便利です

越後天然ガス(株) 新津(24)2171・荻川(25)2100